

令和 6 年度 5月号
学校だより



横浜市立今宿小学校

<今宿小学校学校教育目標>

- ☆☆育てたい「いまじゅくの子」☆☆
- い ○いきいきとした心と体をつくる子(体)
 - ま ○学びをいかそうとする子(知)
 - じ ○自分とみんなを大切にする子(徳)
 - ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子(公)
 - く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子(開)



今宿小学校
WEB ページ

道草 寄り道

校長 藤巻 孝之

風薫る5月。鮮やかな若い緑が日の光に照らされて、目を細めたくなるほどの輝きを放っています。正門の脇には若竹の塀が続き、その中に1本、白やうす桃の八重桜が自慢気に華やかな花弁を広げています。

新年度がスタートして4週間、季節の彩りをたっぷり味わえる正門で子どもたちの登校を迎えています。たくさんのおはようございますがこたえます。わずか10分から15分の間に600名近い子どもたちがくぐる正門ですから、それはそれはにぎやかです。一つひとつの「おはようございます」には個性があって、その子らしさが伝わってきます。大きな声で「おはようございます」、穏やかに落ち着いた様子で「おはようございます」、視線を合わせてからそっと優しく「おはようございます」、ニコッと笑って心の中で「おはようございます」、そのまま通り過ぎるように見えて確かに交わされている「おはようございます」。今小の活気ある一日のスタートです。

ある朝、子どもたちが言います。「今日もウグイスが鳴いているね。」「いつまでいるのかな。」そんな些細な気づきやつぶやきが子どもたちの興味、関心を広げていきます。「ここにはウグイスの家があるんだよ。」「聞こえなくなったら、なんか寂しい。」「この後どこへ行くんだろう。」学びのきっかけはいたるところに転がっています。

先日は子どもたちの下校に合わせて学校周辺を少し散策しました。子どもたちの様子はというと…。友だちと一緒に今日の出来事を話したり、遊びの約束をしたり、何があったのかわかりませんが大爆笑していたり。そんな子どもたちに共通しているのは視線が進行方向にはない、ということです。歩きなれた勝手知ったる道であるが故でしょうが、子どもたちは知らず知らずのうちに辺りをきょろきょろ見渡しながらかの新たな出あいや発見に期待を寄せているようです。何かを見つけたら立ち止まり、少し道をそれ、新たな出あいや発見にドキドキワクワクするのでしょう。道草や寄り道は子どもたちにとって小さな冒険であり、学びの材への道しるべでもあるのです(安全面からもほどほどにしてほしいとは思いますが…)。

実は保護者や地域の皆様にも、積極的に道草や寄り道をしていただきたいと思っています。4月19日に行われた授業参観・懇談会には多くの皆様にご来校いただきました。また、5月には授業参観デイズがあり、再び子どもたちの様子をご覧いただく機会を設けています。しかし、それ以外にも来校される機会は様々あるかと思えます。お子様の忘れ物を届けに、PTA等の活動で、職員との打ち合わせや相談をしに、などなど。ぜひその一つひとつの機会をご活用いただき、校内で道草や寄り道をしていただきたいのです。お時間が許す限り、学校中をゆっくり回ってほしいのです。子どもたちの様子を覗いてほしいのです。そうすることで子どもたちの新たな一面に出あえたり、子どもたちの励みとなったり、職員との交流の場が生まれたりするのだらうと期待しています。今後は、学校説明会やすぐるで発信、配信した今年度の取組の一つである「地域学校協働本部の活用保護者、地域の皆様の積極的な参画」を具現化し、フレキシブルで自由度が高い、気軽にご参加いただける学習ボランティア体制を構築し、さらに皆様にご来校いただく機会を増やしていこうと思っています。ぜひ、道草、寄り道をしに今小にお越しください。

今月も新たな出あい、発見がありますように。元気が一番!よろしく願いいたします。

